

動物の管理および使用に関するポリシー

背景

アステラスは、先端・信頼の医薬で世界の人々の健康に貢献することを経営理念に掲げています。医療上の重要なニーズを満たす医薬品が進歩するために、責任をもって動物を取り扱う創薬研究が貢献していることを認識し、アステラスは動物福祉を真摯に受け止めています。

ポリシー

アステラスは、動物の管理および使用に関する各国の法令や規則を遵守するとともに、国際的にも認められた基準・指針に準拠します。

アステラスは、医薬品の開発において責任をもって動物を取り扱う際に、以下の4Rの原則を満たすように努めます。

- 動物を用いない代替的な実験方法の開発および系統発生的に低位な動物への置換え (Replacement)
- 科学的な目的を達成するのに最低限必要な数まで使用する動物を削減 (Reduction)
- 可能な限り動物に苦痛を与えない配慮 (Refinement)
- 実験の意義・必要性・予見性等の観点から動物使用の科学的・倫理的な正当性を検証 (Responsibility)

アステラスは、動物実験を行うすべての事業場に動物実験委員会を設置し、関連法令や基準を遵守するとともに、4Rの原則の遵守状況の確認・評価・監視、実験計画書の審査および承認、動物の管理および使用に従事する担当者への教育訓練等を行います。また、各動物実験委員会を統括する組織として総括動物実験委員会を設置します。

さらに、高い倫理観をもって適正かつ人道的に動物が管理および使用されていることを担保するため、アステラスでは、動物実験を行うすべての事業場において、国際実験動物ケア評価認証協会 (AAALAC International) の認証を取得します。

アステラスが外部に動物実験を委託する場合、委託先が動物の管理および使用に関する当該国の法令・基準を遵守することを確認します。また、当該委託先が可能な限りアステラスの基準に準拠するように努めます。